

Press Release

報道各位

2020年5月19日

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ美術振興財団

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 2020年6月2日 リオープン決定

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）は、1年3ヶ月に及ぶ長寿命化のための建物改修工事を経て、2020年4月18日（土）にリオープン予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、5月31日（日）まで休館いたします。

この度、一部施設を除き、感染症対策を講じたうえで6月2日（火）から開館することが決定しましたのでお知らせします。

プレス関係の皆様には周知いただきたく、お願い申し上げます。

| 展覧会 |

会期：2020年6月2日（火）～6月28日（日）

（会期については延長に向けた対応を検討中です）

企画展	猪熊弦一郎展 アートはバイタミン
常設展	猪熊弦一郎回顧展
関連プログラム	親子で MIMOCA の日（6月21日）

| 利用可能施設 |

ミュージアムショップ

ミュージアムホール

カフェ MIMOCA

| 利用停止施設 |

アートセンター（美術図書室、造形スタジオを含む）

※今後の国内、近隣の感染状況によっては臨時休館をする可能性もございます。

[お問い合わせ先]

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

公益財団法人ミモカ美術振興財団

企画展担当：古野華奈子 常設展担当：吉澤博之 広報担当：奥本末世

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1

Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766

www.mimoca.org E-mail. press@mimoca.org



■リニューアルの概要

経年劣化への対応

ゲートプラザの屋外作品のメンテナンスのほか、空調や館内の設備の更新を実施。また、照明のLED化による環境負担削減にも取り組みました。

利用者サービスの向上

スロープ、手すり、多目的トイレの拡充といったバリアフリーの向上と子育て世代の来館サポートとして授乳室の拡充などを行いました。

■新型コロナウイルス感染症対策

※5月19日現在

「美術館は心の病院」

当館は、丸亀市の市制施行90周年の記念事業として、丸亀市ゆかりの画家・猪熊弦一郎の全面的な協力のもと1991年11月23日に開館しました。

猪熊は当館のあるべき姿として「美術館は心の病院」という言葉を残しました。人々が気軽に立ち寄り、美しい空間でいい作品を見て、新鮮な刺激を受けて心が元気になる場所であることが美術館の役割であると考えます。

1日も早く開かれた場所として通常開館ができるよう、新型コロナウイルス感染症対策に取り組みます。皆様におかれましても、ご協力のほどお願いします。

当館の対策

- ・スタッフは毎朝、検温・体調確認を行い、体調不良の場合は勤務いたしません。
- ・スタッフはマスクを着用してお客様に対応いたします。
- ・受付等の対面箇所に飛沫を遮断するスクリーンを設置いたします。
- ・定期的に館内において複数の人が触れる場所の消毒を行います。
- ・一度に多くのお客様が来館された場合には、入場制限を行う場合があります。
- ・ギャラリートークや講演会、ワークショップなどは当面の間、中止いたします。
- ・アートセンター（美術図書室・造形スタジオを含む）は当面の間、閉室いたします。

ご来館をご遠慮いただく対象の方

- ・熱がある方、体調不良の方はご来館をご遠慮いただきます。
- ・過去2週間以内に発熱等の症状や特定警戒都道府県にお住まいの方および訪問歴のある方はご来館をご遠慮いただきます。
- ・団体での来館の際はあらかじめご相談いただきます。

ご来館される方への対応

- ・ご入館時、入口のアルコール消毒剤にて手指の消毒をしていただきます。
- ・ご入館時、サーモグラフィカメラによる検温を実施します。発熱や風邪症状のある方のご入館はご遠慮いただきます。
- ・館内では、マスクの着用をお願いいたします。
- ・咳エチケット、手洗いなどのご協力をお願いいたします。
- ・館内では、他のお客様や当館スタッフとの距離を2mほど確保していただきますようお願いいたします。

■ 展覧会情報

リオープンを記念して、初心に立ち返り、猪熊弦一郎が考えるアートの役割と、猪熊作品が生活のなかに作り出した美のあり方を紹介する企画展を開催します。同時に、常設展では初期から晩年まで多様な作品を描いた猪熊弦一郎の軌跡を紹介します。

なお、会期の終了日は未定です。当初6月28日(日)を予定しておりましたが、延長する可能性があります。展覧会開催にあたっての内覧会は行いません。

企画展 猪熊弦一郎展 アートはバイタミン

詳細はチラシ参照

会期：2020年6月2日(火)～6月28日(日)

(会期については、延長に向けた対応を検討中です)

休館日：月曜日(祝休日の場合はその直後の平日)

時間：10:00-18:00(入館は17:30まで)

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 展示室C

主催：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団

観覧料：一般950円(760円)、大学生650円(520円)、高校生以下または18歳

未満・丸亀市在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方は無料

※()内は前売り及び20名以上の団体料金

※同時開催常設展「猪熊弦一郎回顧展」の観覧料を含む

常設展 猪熊弦一郎回顧展

会期：2020年6月2日(火)～6月28日(日)

(会期については、延長に向けた対応を検討中です)

休館日：月曜日(祝休日の場合はその直後の平日)

時間：10:00-18:00(入館は17:30まで)

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 展示室A・B

観覧料：一般300円(240円)、大学生200円(160円)、高校生以下または18歳

未満・丸亀市在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方は無料

※()内は20名以上の団体料金(企画展料金は別途)

■ 関連プログラム

親子でMIMOCAの日

MIMOCAでは今年度より新規事業として「親子でMIMOCAの日」を始めます。

各展覧会で、高校生または18歳未満の観覧者1名につき、同伴者2名まで観覧無料となる日を1日設けます。

今展覧会での実施日時：2020年6月21日(日)10:00-18:00(入館は17:30まで)

※同日予定しておりました親子向けのギャラリー・トークは実施を中止いたします。

■主な利用可能施設

ミュージアムショップ

詳細は別紙1

当館が所蔵する猪熊弦一郎の作品をモチーフにしたさまざまなグッズを取り揃えます。すべてのオリジナル商品には「人々の身近なところに美しく、楽しいものを」という猪熊の思いが込められています。

リオープンを機に MoMA のグッズも販売開始します。

営業時間：10:00-18:00

定休日：月曜日（祝休日の場合はその直後の平日）、年末12月25日から31日、および臨時休館日



ミュージアムホール

地域に開かれたホールとして、発表会やコンサート、シンポジウムなどさまざまな目的でご使用いただけます。総席数170席と小規模ながら照明、音響設備が充実したホールです。6月以降ご利用いただけますが、感染状況に応じて開催の有無を判断します。

利用可能時間：09:00-22:00

定休日：月曜日（祝休日の場合はその直後の平日）、年末12月25日から31日、および臨時休館日



カフェ MIMOCA

詳細は別紙2

リオープンに合わせて、“暮らしを楽しむための衣食住”というライフスタイルを提供している「まちのシュレー963」をお迎えし、美術館の新たなカフェとして開業します。カフェと物販の複合店舗となり、軽食やデザートを楽しめる他、瀬戸内の食品や手仕事を中心に暮らしを楽しむための品々を販売します。

営業時間：当面の間10:00-17:00(L.O.16:30)

定休日：月曜日（祝休日の場合はその直後の平日）、年末12月25日から31日、および臨時休館日

